

類別名称：歯科材料 01 歯科用金属

管理医療機器 一般的名称：歯科鑄造用金銀パラジウム合金 JMDNコード：70774000

販売名：東洋パラジウムゴールド 12 (第 1・2 種 鑄造・クラスプ兼用)

【禁忌・禁止】

- 1) 本合金又は類似成分の合金に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者に使用しないこと。
- 2) 本合金又は類似成分の合金に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】



該当規格：JIS T 6106「歯科鑄造用金銀パラジウム合金」

成分・分量：

成分	分量
金	12%
パラジウム	20%
銀	45%
銅	21%
イリジウム	0.05%
その他	亜鉛、インジウム

物理化学的性質

液相点／固相点*	930℃／870℃
ビッカース硬さ	130 Hv (軟化)、225 Hv (硬化)
引張強さ	525 MPa (軟化)、770 MPa (硬化)
伸び	15% (軟化)、7% (硬化)
密度*	10.9g/cm ³
耐食性	変色せず

【使用目的又は効果】

金 12%以上、パラジウム 20%以上、銀 40%以上を含有する歯科鑄造用合金をいう。主として歯科用修復物及び器材の作製に用いる。

(1) 使用目的、用途

主としてクラウン、クラスプ、ブリッジ、ダミーに用いる。

【使用方法等】

- (1) ワックスアップ・埋没・焼却
ワックスアップは、通法により行い、スプルー線は金合金の場合よりやや太くし、650℃で係留します。
- (2) 溶解量
スプルー線付きワックスパターン重量の約 8～10 倍。
- (3) 溶解鑄造
強熱で短時間で溶解し、赤熱したメタルがクルクル回転し、合金の中から小球が飛び出す時が最適な鑄造のタイミングです。高周波溶解等の方法で溶解する場合には、その説明書の指示に従って下さい。
- (4) 熔剤
硼砂を用いますが、金の場合より多めに使用して下さい。
- (5) 鑲着
鑲着には東洋パラジウム鑲（低熔）を用いて下さい。流鑲性が良く、鑄造体と完全に融着し、剥離の心配がありません。通法に従って鑲着して下さい。

(6) 酸浴清掃

希塩酸中に 4～5 分浸漬しますと鑄造体の酸化膜は容易に除去できます。

(7) 熱処理

軟化処理

700～750℃に加熱した電気炉にて 10～15 分間保持した後、水中急冷して下さい。

硬化処理

軟化処理後 400℃で約 15～20 分間保持し、大気放冷して下さい。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- (1) 本合金を再溶解する場合には、サンドブラスター等で埋没材、酸化膜を完全に取り除き、新しい合金を等量以上加えて溶解すること。
- (2) 歯科用フラックスを使用する場合には、その説明書に表示してある使用上の注意事項を守ること。

【使用上の注意】

- (1) 使用注意
 - ① 本合金の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状があらわれた患者及び術者は、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。（本合金にはニッケル、カドミウム、ベリリウムを含みません。）*
 - ② 本合金の鑄造設備付近には、局所排気装置、換気扇などを設けて密閉した部屋での作業を避け、鑄造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。
 - ③ 本合金の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
 - ④ 鑄造作業中は防護めがね、防護服、防護手袋等の防護具を着用すること。
 - ⑤ 他の合金と混熔しないこと。

(2) 重要な基本的注意

- ・ 禁忌・禁止の記載に関連する必要な記載を行うこと。

(3) 不具合・有害事象

- その他の有害事象
・ 掌蹼膿疱、扁平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹（遅発性金属アレルギー疾患）を発症することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

〔貯蔵・保管方法〕

- ・ 本材は適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社 東洋化学研究所
製造元：同
住所：〒173-0004 東京都板橋区板橋 4-25-12
電話番号：03-3962-8811
ファックス：03-3961-1859